

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	アントレプレナーシップ演習		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	演習	
担当教員	榎本 博之 ・ 荒木 美英子		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	シリコンバレーからオンラインで授業を行い、アントレプレナーシップを学び、自身の成長に必要なマインドを持ち、グローバルな視野を身につける為に、自己発信を行なう力、Proactiveな心を持ち合わせれるような人材を育成できるような内容にする。学生の興味に合わせたグループに分けてのグループ授業を実施する。							
到達目標	①将来に向けた目的を作り、目標を設定する ②チャレンジする大切さを知り、実際にチャレンジを行う ③アントレプレナーシップを学び、具体的なチャレンジの手法を取得する ④海外に興味を持ち、世界は日本だけではないことに気づく							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション、この授業の概要 今年中にやっておきたいこと、目標			第16週	特別講師			
第2週	自己PRと自分たちの成長と目標の設定 インターンシップ、キャリアデザイン			第17週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第3週	グローバル・チャレンジの今年の概要			第18週	ワークショップ①			
第4週	特別講師 (Miwa Fujisaka)			第19週	グループ説明			
第5週	①シリコンバレー特有の失敗を恐れず挑戦すること			第20週	特別講師			
第6週	②多様性の需要によるメリットを知り様々なことに興味を持つこと			第21週	ワークショップ②			
第7週	③「創り出す」ことの魅力と威力を知ること			第22週	ワークショップ③			
第8週	グループ授業とチャレンジテーマ			第23週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第9週	特別講師			第24週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第10週	個人面談・交流会			第25週	ワークショップ④			
第11週	プロジェクトを進める上で①			第26週	特別講師			
第12週	プロジェクトを進める上で②			第27週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第13週	プロジェクトを進める上で③			第28週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第14週	グループ授業とチャレンジテーマ			第29週	グループ授業とチャレンジテーマ			
第15週	グループ授業とチャレンジテーマ			第30週	最終発表			
評価方法	出席 (30%)、課題提出 (40%)、授業態度 (30%)							
教科書 教材など	●教科書は使用しない ●参考文献は適宜提示							
実務経験	東洋紡にて生化学事業部・国内外業務を経験、販売業務と海外メーカーとの契約交渉担当。 現在はB-Bridge International, Incをアメリカに設立し代表取締役である。(榎本)					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	デジタルマーケティング	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	講義	
担当教員	佐藤 聡 ・ 荒木 美英子	学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・企業におけるWebマーケティングの取り組みに必要な基礎知識を「戦略立案」「施策実行」「データ分析」から「サイト制作」スキルまで幅広く体系的に学ぶ ・動画授業では、各テーマごとにインプットと確認課題を積み重ね、基礎知識の定着を図る ・対面授業では、動画で学んだテーマに関する詳細解説、事例紹介、実践ワーク等を通して、Webマーケティング実務への理解をさらに深める						
到達目標	・企業のWebマーケティング現場におけるマインドセットを身に付ける ・自身のキャリア志向性に合ったテーマやスキルを発見する						
授業計画・内容							
第1週	【オンライン】講師紹介・オリエンテーション 【動画視聴／小テスト】インターネット基礎		第16週	【動画視聴／小テスト】WebUI			
第2週	【動画視聴／小テスト】インターネット基礎 【動画視聴／小テスト】Webマーケティング		第17週	【動画視聴／小テスト】Webデザイン			
第3週	Webマーケティングの歴史とキャリア ワークショップ「あなたが毎日使うWebサイトの裏側」		第18週	画面設計作成ツアー ワークショップ「UI/UX診断」			
第4週	【動画視聴／小テスト】Webマーケティング		第19週	【動画視聴／小テスト】Webデザイン 【動画視聴／小テスト】Webコーディング			
第5週	【動画視聴／小テスト】Webマーケティング 【動画視聴／小テスト】SEO理論		第20週	【動画視聴／小テスト】Webコーディング			
第6週	ワークショップ「ペルソナ・カスタマージャーニー」 デジタル広告体験ツアー		第21週	Webデザインポイント解説 ワークショップ「ランディングページデザイン」			
第7週	【動画視聴／小テスト】SEO理論		第22週	【動画視聴／小テスト】Webコーディング			
第8週	【動画視聴／小テスト】SEO理論		第23週	【動画視聴／小テスト】Webコーディング			
第9週	ワークショップ「キーワード戦略コンペ」 ワークショップ「リアルタイムSEO診断」		第24週	Webサイトコーディングツアー ワークショップ「インタラクティブWebエレメント制作」			
第10週	【動画視聴／小テスト】SEO理論 【動画視聴／小テスト】Webライティング		第25週	【動画視聴／小テスト】WordPress基礎			
第11週	【動画視聴／小テスト】Webライティング		第26週	【動画視聴／小テスト】WordPress基礎 【動画視聴／小テスト】WordPress応用			
第12週	ワークショップ「記事構成案作成」 AI時代のSEOとWebライティング		第27週	ワークショップ「WordPressサイト開設」 WordPressカスタム開発事例紹介			
第13週	【動画視聴／小テスト】Webライティング 【動画視聴／小テスト】Web分析		第28週	【動画視聴／小テスト】WordPress応用			
第14週	【動画視聴／小テスト】Web分析		第29週	【動画視聴／小テスト】WordPress応用 【動画視聴／小テスト】Webディレクション			
第15週	ワークショップ「GA/Looker Studio体験」 Web分析データ考察		第30週	ワークショップ「Webサイト要件定義」 Webサイトの提案から受注・納品まで			
評価方法	出席(10%)、動画視聴(20%)、小テスト(30%)、プレゼン発表(40%) 【前期試験プレゼンテーマ】Webマーケティングプラン発表会 【後期試験プレゼンテーマ】模擬クライアントプレゼンテーション						
教科書 教材など	e-Learning動画コンテンツ、スライド資料及び補足資料、小テスト						
実務経験	約15年に渡るWebマーケティングコンサルティング経験				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	マーケティング演習		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	講義	
担当教員	中山 顕作 ・ 荒木 美英子		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・「便利な使いやすい人材にならない」をスローガンに、マーケティングの本質である「価値創造と差別化」について徹底的に考え抜く。単なるマーケティング手法の習得ではなく、市場における独自のポジショニングを確立し、真の価値を提供できる人材の育成を目指す授業。 ・前期は「破壊編」として既存の常識や手法を疑い、後期は「創造編」として本質的な価値創造を考える。従来型の講義ではなく、理論と実践の両面から、「なぜそうなのか」を常に問いかける指導を行う。議論・批判・創造を中心としたインタラクティブな授業内容。							
到達目標	・戦略的思考力を身につけ、表層的なトレンドに惑わされない判断軸を持つ ・「誰にでもできる」を超えた、独自の価値提供ができる視点を確立する ・批判的思考を養い、常識や既存の枠組みに疑問を投げかけられる力を身につける ・自身の考えを論理的に組み立て、説得力のある形で発信できるようになる							
授業計画・内容								
第1週	前期「破壊編 - 既存の枠組みを疑う」 「便利な使いやすい人材」になることの危険性【対面】		第16週	後期「創造編 - 本質的価値を考える」 事業の本質を考える【対面】				
第2週	マーケティング4Pの嘘 - なぜ形式論では勝てないのか		第17週	「誰のため」を徹底的に考える				
第3週	「顧客の声を聞け」の落とし穴		第18週	独自性の見つけ方				
第4週	データ分析の限界と人間洞察の重要性		第19週	「市場を作る」という発想				
第5週	ブランディングの誤解 - ロゴと広告では終わらない		第20週	提供価値の再定義				
第6週	「市場調査」という幻想		第21週	真のターゲティングとは				
第7週	「成功事例」の危うさを考える		第22週	「当たり前」を疑う習慣づけ				
第8週	デジタルマーケティングの罠【対面】		第23週	社会課題とビジネスの接点				
第9週	なぜSNSマーケティングは機能しなくなったのか		第24週	第24週: 未来予測と逆算思考【対面】				
第10週	グロースハックは救世主か？		第25週	事業ドメインの再定義				
第11週	「売れる」と「儲かる」の違い		第26週	「勝てる市場」の見つけ方				
第12週	「顧客満足」の先にあるもの		第27週	リソース制約下での意思決定				
第13週	イノベーションの本質		第28週	プライシングの哲学				
第14週	「戦略」と「戦術」の境界線		第29週	価値創造の統合演習				
第15週	前期のまとめ(テスト実施)		第30週	後期のまとめ(テスト実施)				
評価方法	前期・後期共通(100点満点) ・出席・授業態度: 50% (議論への積極的な参加 ・他者の意見への建設的な批判 ・授業内での発言の質と量) ・試験: 50% (着眼点の独自性 ・論理展開の妥当性 ・実現可能性との向き合い方)							
教科書 教材など	●教科書は使用しない ●参考文献は適宜提示 ●ケース教材(実際の企業の成功・失敗事例) ●現役経営者・起業家のインタビュー記事や講演動画							
実務経験	外資系企業でのマーケティング実務、起業経験					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	PBL実践		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	演習	
担当教員	有田 裕一		学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	以下の内容で構成された社会課題の課題設定から解決策策定までをグループ授業を通じて実践する。 ①産学連携先ビジネスパーソンによる講義及びグループワーク指導。 ②フィールドワークの計画・実施による現状把握。 ③フレームワークの学習と各手法の実践。							
到達目標	①解像度の高い課題設定、仮説と裏付けを経て回答に至る課題解決のビジネスフレームワークを習得する。 ②グループディスカッション、プレゼンテーション等のコミュニケーションスキルを習得する。 ③マーケティング、ロジックツリー、データ収集・分析等のビジネススキルを習得する。							
授業計画・内容								
第1週	オリテン・グループ分けによるアイスブレイク		第16週	(連携先C講義) 事業課題の概要説明とロジックツリーを使った解像度向上				
第2週	課題プレスト(使用アプリをグループで使いながら)		第17週	第10週の計画実行→インタビュー先アポイント確保、内容確認				
第3週	課題プレスト→プレスト結果をPPT提出		第18週	(連携先C講義) 課題の解像度向上と仮説をPPT作成→プレゼン・講評				
第4週	(連携先A講義) ビジネス課題設定について		第19週	第17週引き続き。インタビュー実施とデータ抽出による仮説裏付け。11/3学園祭発表準備				
第5週	ビジネス課題設定とロジックツリーを使った解像度向上→PPT提出		第20週	(連携先A講義) 仮説裏付けPPT作成→プレゼン・講評。11/3学園祭発表準備				
第6週	(連携先A講義) PPTを使ったプレゼン→質疑応答→PPT修正		第21週	(連携先C講義) 仮説裏付け→PPT作成				
第7週	ロジックツリーから仮説を設定する→PPT作成		第22週	(連携先A講義) 合同でシンポジウム運営・受講				
第8週	(連携先A講義) 仮説発表と講評		第23週	(連携先C講義) 第21週予備日				
第9週	(連携先B講義) 事業課題の概要説明とロジックツリーを使った解像度向上		第24週	連携先A課題の回答・PPT作成。11/29岡山イノベーションコンテスト見学。				
第10週	(連携先A講義) 仮説裏付計画策定のGW→PPT作成		第25週	11/29のコンテスト参加の感想と連携先A全体工程の見直し				
第11週	(連携先B講義) 課題の解像度向上と仮説をPPT作成→プレゼン・講評		第26週	(連携先C講義) 回答作成→PPT作成				
第12週	第10週PPTを5W1Hレベルに落とし込み		第27週	(連携先A公開講義) 最終プレゼン→質疑・講評				
第13週	(連携先B講義) 仮説裏付計画策定のGW→PPT作成→計画レベルでの連携先答申		第28週	11/29分振替休講				
第14週	(連携先A講義) 合同金融教室受講		第29週	(連携先C講義) 最終出前プレゼン→質疑・講評				
第15週	(連携先B講義) 第13週予備日		第30週	(連携先A講義) 来期課題のGW、連携先ディスカッション				
評価方法	定期試験は実施せずに、毎授業時間内におけるグループワークへの貢献、プレゼンスkills、ビジネスフレームワークの習得・パフォーマンス及び出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: ビジネスフレームワーク(30%)・コミュニケーションスキル(30%)・ビジネススキル(30%)出席や授業態度(10%)							
教科書 教材など	担当教員によるスライド、ChatGPT等の各種アプリ							
実務経験	2018年よりudemyにてデータサイエンス、ロジカルシンキングのe-learningコースを提供、教授。					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	データサイエンス基礎	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	講義	
担当教員	有田 裕一	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	以下の内容で構成されたデータリサーチデザイン作成から初歩的なデータ分析・洞察の発見までを個人・グループ授業を通じて実践する。 ①t分布～ロジスティック回帰の6つの分析手法の理解。 ②生成AIを使ったpythonコード作成。 ③行政等各種オープンデータの入手。						
到達目標	①生成AIから最適なpythonコードを引き出すプロンプトエンジニアリングを習得する。 ②グループディスカッションを通じて仮説を裏付けるためのリサーチデザイン力を習得する。 ③データ収集、アンケート作成等のビジネスフレームワークを習得する。						
授業計画・内容							
第1週	オリテン(カリキュラム全体像を「統計データ分析コンペティション」受賞論文を参考に説明)	第16週	事例3「Jリーグ ホームVSアウェイどっちが有利」の実践(個人W)				
第2週	リサーチデザインとは？実際にmiroホワイトボードを使って変数を決めよう。	第17週	事例3「Jリーグ ホームVSアウェイどっちが有利」の実践(GW)				
第3週	リサーチデザインから逆算したアンケートフォームを作成しよう(個人課題あり)	第18週	事例3「Jリーグ ホームVSアウェイどっちが有利」の実践(プレゼン)				
第4週	データクリーニング、前処理について	第19週	統計手法をサンプルを使って ロジステック回帰分析				
第5週	相関分析とグラフ作成(生成AI)を使って	第20週	オープンデータの抽出 e-STATを使って				
第6週	事例1「ダイエット意識調査」の実践	第21週	オープンデータの抽出 e-STATを使って(GW、プレゼン)				
第7週	事例1「ダイエット意識調査」の実践(GW、プレゼン)	第22週	統計手法をサンプルを使って ロジステック回帰分析				
第8週	統計手法をサンプルを使って t検定 分散分析	第23週	事例4「会員は継続か？退会か？」の実践(個人W)				
第9週	統計手法をサンプルを使って カイニ乗分析 回帰分析	第24週	事例4「会員は継続か？退会か？」の実践(GW)。11/29岡山イノベーションコンテスト見学。				
第10週	事例1「ダイエット意識調査」の再実践(個人W,課題提出)	第25週	事例4「会員は継続か？退会か？」の実践(プレゼン)				
第11週	事例2「地域別健康診断」の実践(個人W)	第26週	事例5「タイタニック乗船名簿から洞察を得よう」の実践(個人W)				
第12週	事例2「地域別健康診断」の実践(GW、プレゼン)	第27週	事例5「タイタニック乗船名簿から洞察を得よう」の実践(GW)				
第13週	事例2「地域別健康診断」の実践(個人W、課題提出)	第28週	11/29分振替休講				
第14週	行政オープンデータの抽出e-STATを使って(PBL連動)	第29週	事例5「タイタニック乗船名簿から洞察を得よう」の実践(GW,プレゼン)				
第15週	行政オープンデータの抽出e-STATを使って(PBL連動)	第30週	事例5「タイタニック乗船名簿から洞察を得よう」の実践(個人W、課題提出)				
評価方法	・ビジネススキルの習得度(40%) ・コミュニケーションスキルの習得度(40%) ・規律(出欠、課題提出)(20%)						
教科書 教材など	担当教員によるスライド、chatGPT有料版						
実務経験	2018年よりudemyにてデータサイエンス、ロジカルシンキングのe-learningコースを提供、教授。				実務経験のある教員による 授業科目	✓	

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナー	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	荒木 美英子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	社会人として身につけておいてほしい最低限のマナーの習得。 あいさつや言葉遣い、話し方、立ち居振る舞いなどを毎回の授業で特に重点を置き、進めていく。 人前で話すことが苦→楽になるよう、また自信をもって自己表現ができるよう、発表やロールプレイングを中心に、理解度を深めていく。						
到達目標	ビジネスマナーの基本的な知識を習得。 ロールプレイングや発表、スピーチを通じて、日常生活やアルバイトで実践しながら、体得し、自信をもって就職活動に臨むことができるようになることを目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	動機づけ・身だしなみ		第16週	就職活動に向けて①電話対応の基本			
第2週	基本動作・言葉遣い		第17週	就職活動に向けて②手紙の書き方			
第3週	ケーススタディ(ロールプレイング)		第18週	就職活動に向けて③ 携帯電話のマナー、電子メールのマナー			
第4週	仕事効率・スケジュールリング		第19週	就職活動に向けて④来客対応の基本マナー			
第5週	態度①離席・外出時マナー		第20週	就職活動に向けて⑤ 訪問時のマナー・身だしなみ			
第6週	態度②退社時マナー・休暇・休日出勤マナー		第21週	マナーの歴史			
第7週	就業態度①整理・整頓		第22週	国際人としてのマナー			
第8週	就業態度②公私の区別と守秘義務		第23週	社会人に必要なマナー			
第9週	勤務時間終了・休日の人間関係		第24週	ビジネスシーンのマナー①電話・メール			
第10週	就業態度③報連相・指示の受け方		第25週	ビジネスシーンのマナー②来客対応			
第11週	会議の参加と議事録		第26週	ビジネスシーンのマナー③ビジネス文書			
第12週	受付と訪問		第27週	食事のマナー			
第13週	会議での発言		第28週	冠婚葬祭マナー			
第14週	話し方のポイントと話法		第29週	1年間のまとめ			
第15週	前期試験対策		第30週	学年末試験対策			
評価方法	出席(10%)、授業態度(10%)、筆記試験(80%)						
教科書 教材など	●教科書は使用しない・オリジナルスライド使用 ●参考文献は適宜提示						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスソフト演習	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	演習
担当教員	難波 敏子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	Word、Excelの操作を習得する。 ・Word…文章の入力から始め、図表や画像を含む資料やビジネス文書の作成を練習する。 ・Excel…四則演算や関数を使った計算、グラフ作成、データベース機能を練習する。 パソコンを使った演習によって授業を行う。						
到達目標	パソコンの操作に慣れる。 Word、Excelの基本的な操作ができる。 ・Wordを使って、簡単なビジネス文書やレポートを作成できる。 ・Excelを使って、表の作成や計算ができる。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション Windowsの操作	第16週	Excel: ユーザー定義の表示形式				
第2週	タイピング、文字の入力	第17週	Excel: 条件付き書式				
第3週	文字の入力、変換	第18週	Excel: 練習問題1				
第4週	Excel: データの入力	第19週	Excel: 練習問題2				
第5週	Excel: 表の作成	第20週	Excel: 練習問題3				
第6週	Excel: 表の編集	第21週	Word: 基本的な文書の作成				
第7週	Excel: 表の編集	第22週	Word: 図や表の挿入				
第8週	Excel: 表の印刷	第23週	Word: 図や表の挿入、文書の印刷				
第9週	Excel: グラフの作成	第24週	Word: 表現力をアップする機能				
第10週	Excel: データベース	第25週	Word: 表現力をアップする機能				
第11週	Excel: 複数シートの操作	第26週	Word: 練習問題1				
第12週	Excel: 関数	第27週	Word: 練習問題2				
第13週	Excel: 関数	第28週	Word: 練習問題3				
第14週	前期復習	第29週	後期復習				
第15週	前期試験、まとめ	第30週	後期試験、まとめ				
評価方法	定期試験、課題提出状況、授業態度、出席状況等を総合的に評価する。 ＊評価目安: 定期試験(50%)、課題提出状況(40%)、出席状況(10%)						
教科書 教材など	『情報リテラシーアプリ編』(FOM出版) 『よくわかる Word 2019 & Excel 2019 スキルアップ問題集 操作マスター編』(FOM出版)						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアデザイン	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	荒木 美英子	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・「キャリアとは何か」「キャリアをデザインするとはどういうことか」を自問し、社会や仕事に対して「主体的にキャリア、人生を歩んでいくこと」について深く考えるきっかけを獲得する。 ・人生100年と言われる今、社会人として自立したキャリアを積むためには、自分を知り今の生活をどう送るか考えるとともに、自分の将来を思い描いていく ・主体的な就職活動ができるよう自己理解・仕事理解を深め、面接・グループディスカッション等の実践訓練を行い就活スキルを磨く ・前期試験は自己PR面接対策評価試験 後期試験は志望理由面接対策評価試験を実施						
到達目標	・働く目的・社会人としての基本的マナー・マインド・倫理感を体得し、社会で通用する人材を養う。 ・過去・現在について客観的に自己分析し、学生生活や将来につながる自己理解を深め、キャリアプランを立てる。 ・自分の強みや価値観を確認し、自分のキャリアについて主体的に考え行動していく姿勢と覚悟を身につける。 ・社会人として自立した人格と能力を身につけ、将来の就職活動においても堂々と自己PRができる。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション (授業の受け方、目的)		第16週	職業理解ワークシートの作成			
第2週	ペップトーク: やる気を引き出す魔法の言葉		第17週	職業理解ワークシートの作成			
第3週	マンダラチャート①: 得られる効果説明・実践		第18週	グループディスカッション①			
第4週	マンダラチャート②: ワークシート実践		第19週	職業人① 調べ			
第5週	3つの問い will can must		第20週	職業人② 調べ			
第6週	モチベーションボール①説明		第21週	なりたい自分 発表			
第7週	モチベーションボール②シート作成		第22週	インターンシップ・企業訪問について①			
第8週	GOAL設定①説明		第23週	インターンシップ・企業訪問について②			
第9週	GOAL設定②やりたい仕事の見つけ方		第24週	インターンシップ・企業訪問について③			
第10週	気持ちを上手に伝える①認知行動		第25週	インターンシップ・企業訪問について④			
第11週	気持ちを上手に伝える②ワークシート		第26週	面接試験対策① 集団討論			
第12週	自己PR作成		第27週	面接試験対策② 集団面接			
第13週	面接カード(エントリーシート)記入		第28週	面接試験対策③ 個人面接			
第14週	集団討論		第29週	面接カード(エントリーシート)記入			
第15週	前期 面接対策評価試験(自己PR)		第30週	後期 面接対策評価試験(志望理由)			
評価方法	出席率(10%)、提出物(20%)、授業への積極的な参加態度(20%)、面接対策評価試験(50%)						
教科書 教材など	●教科書は使用しない・オリジナルスライド使用 ●参考文献は適宜提示						
実務経験	企業・学校で自己理解講座を実施 キャリアコンサルタントとして自己理解講座を実施				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	英会話	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	演習
担当教員	PARVIN MST SONIA	学年・学期	1年・通年	時間数	180 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	Focusing on speaking at a truly advanced level. By the end of the year, student should be able to express theirself clearly and effectively in a variety of situations.						
到達目標	If students are fluent in English, they are may not miss out on valuable information and resources that could help them in their personal and professional life. Who is looking for a new job or planning to travel the world, their English skills can help them to progress in life both personally and professionally.						
授業計画・内容							
第1週	Introduction class.		第16週	Discribe your friends by using adjectives.			
第2週	Introduce themselves to each other. Discuse with classmate.		第17週	Discribe your friends by using adjectives Part II.			
第3週	Preparation daily routine.Asking & answering question with friends,grammar check.		第18週	Speaking practice(adverbs) and vocabulary of (food, business and weather) part I.			
第4週	Grammar & vocabulry check.(time,day & date)short speech(Introduce myself)		第19週	Speaking practice(adverbs) and vocabulary of (food, business and weather) part II.			
第5週	Preparation name card with short speech. Vocabulary of household things.		第20週	Discribe the town maps. Vocabulary name of places.			
第6週	Importance of English in our dailylife.		第21週	Discribe the town maps part I by using short phases.			
第7週	Conversation with friends about time and grammar test..		第22週	Part II Discribe of town/country maps.			
第8週	Practice vocabulry of seasons (summer, winter and spring). Speaking practice with friends.		第23週	Conversation in the Airport. Vocabulary of airport.			
第9週	Conversations of (shopping, buying and looking for somethings).		第24週	Conversation (check in/immegration)counter in the airport.			
第10週	Conversation of restaurant(ordering, paying). Vocabulary of reataurant.		第25週	Vocabulary of job and how English will help you in your future job.			
第11週	Preparation of small business/job in Japan. Practice(verbs/adjectives) game in the class.		第26週	Job vocabulary partII. What you want to be a……			
第12週	Preparation for short speech.		第27週	Presentation preparation of Business/job			
第13週	Practice in a group and ask questions to others.		第28週	Preparation of short speech and practice in a group.			
第14週	Goup practice(presentation)		第29週	Practice of short report.			
第15週	Final presentation.		第30週	Fainal presentation			
評価方法	Grades will be evaluated by taking vocabulary and conversation class test, class attendance and on their class attitude.						
教科書 教材など	I am looking for students suitable books.						
実務経験	I have taught English for company employee and at Yakage High school for 4 years.				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	検定対策(英語)	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	Shelly Itoh	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	This TOEIC class will be an opportunity for students to see what their English ability is. The text book will focus on Listening and Reading. We will also work on Speaking and Writing skills using the supplemental text book and a weekly journal. By the end of this class, students should be able to acheive a 500 or higher TOEIC score and be able to talk about the kind of work they do and explain to others about their work place.						
到達目標	TOEIC is considered to be the best business English exam to check the English ability for people in the working world. Many OBC students will be working in a wide variety of places that offer services that will include English speaking foreigners from around the world. It is an important skill to master the basic ability to communicate using the 4 skills of English.						
授業計画・内容							
第1週	Introduce and explain about the TOEIC exam. Students self introductions.		第16週	Newspaper advertisements, magazine and newspaper articles			
第2週	Skills for taking the listening test Note taking skills and other special techniques		第17週	online chat discussion, text message chain, memo, letter			
第3週	Practice the listening part of the TOEIC Photos		第18週	invitations, schedules			
第4週	Practice the listening part of the TOEIC Q&R		第19週	5 types of reading single and multiple questions more practice			
第5週	Practice the listening part of the TOEIC Conversations		第20週	Take Mock exam Reading Part 5			
第6週	Practice the listening part of the TOEIC Conversations		第21週	Take Mock exam Reading Part 6			
第7週	Practice the listening part of the TOEIC Talks		第22週	Take Mock exam Reading Part 7			
第8週	Practice the listening part of the TOEIC Talks		第23週	Take Mock exam Reading Part 7			
第9週	Take the Mock exam for Listening		第24週	Review listening skills			
第10週	Skills for taking the Reading Incomplete Sentences How to build your vocabulary		第25週	Review reading skills			
第11週	Incomplete Sentences Verbs Nouns Prepositions Adjectives		第26週	Take TOEIC exam			
第12週	Reading practice short text completion How to scan and skim		第27週	Take TOEIC exam			
第13週	How to increase speed for text completetion		第28週	Review answers			
第14週	Practice reading the different types of Single and Multiple passages		第29週	Review answers			
第15週	emails, instant messages, websites, confirmation form, invoice		第30週	Review answers			
評価方法	Grades will be evaluated by taking weekly short tests, a final TOEIC mock exam, class attendance and on their class attitude.						
教科書 教材など	ETS TOEIC Listening and Reading textbook and Use Basic Grammar in Use as a supplementary textbook as well as online TOEIC example questions.						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	検定対策(マーケティング)	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	荒木 美英子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	・予測不能なVUCA時代で起業に挑むための要件と、その「思考と行動」のあり方について授業する。 ・マーケティングを学び始めた学生に対して、マーケティングの基礎を身につけて業務にあたる基礎構築をする。そこで身につけたマーケティングを体系的に確認するために検定取得のための授業内容である。						
到達目標	公益社団法人日本マーケティング協会主催「マーケティング検定」取得する						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション マーケティングに関する以下の重要な概念に関する基礎		第16週	市場環境			
第2週	基本概念		第17週	戦略的マーケティング			
第3週	マーケティング発想法		第18週	マーケティングリサーチ			
第4週	マーケティングにおける環境分析		第19週	消費者行動			
第5週	消費者行動分析		第20週	コミュニケーション戦略			
第6週	製品戦略		第21週	製品戦略			
第7週	ブランド戦略		第22週	価格戦略			
第8週	価値戦略		第23週	チャンネル戦略			
第9週	コミュニケーション戦略		第24週	サービスマーケティング			
第10週	チャンネル戦略		第25週	まとめ			
第11週	サービス・マーケティング		第26週	検定対策 1			
第12週	検定対策1		第27週	検定対策 2			
第13週	検定対策2		第28週	検定対策 3			
第14週	検定対策3		第29週	1年間のまとめ			
第15週	前期試験対策		第30週	学年末試験対策			
評価方法	出席(10%)、課題提出(20%)、授業態度(30%)、検定受験(40%)						
教科書 教材など	内閣府認定 マーケティング検定 3 級試験 公式問題集 & 解説 2024年-2025年度版						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアサポート	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	井上 幸路 ・ 時實 好恵	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	本授業では、日本社会を理解し、社会の一員として働くために必要な一般知識を習得する。また、就職活動に必要な知識(筆記試験対策、面接対策など)を学ぶ。さらに、授業時間外には就職ガイダンスや企業説明会などを実施し、就職活動に関する情報を提供する。 授業は、講義形式とグループワークを組み合わせで行う。						
到達目標	就職活動を行う上で必要な知識を習得し、円滑に就職活動を進められるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	日本の社会制度の理解		第16週	グループディスカッション対策① (グループディスカッションの進め方)			
第2週	日本で働くということ		第17週	グループディスカッション対策②(模擬練習)			
第3週	日本事情と異文化理解①		第18週	履歴書・エントリーシート作成① (学生時代に力を入れたこと)			
第4週	日本事情と異文化理解②		第19週	履歴書・エントリーシート作成②(自己PR)			
第5週	日本事情と異文化理解③		第20週	履歴書・エントリーシート作成③ (キャリアプラン)			
第6週	日本事情と異文化理解④		第21週	履歴書・エントリーシート作成④(志望動機)			
第7週	日本事情と異文化理解⑤		第22週	面接試験対策①(想定質問準備)			
第8週	自己分析①(自分史)		第23週	面接試験対策②(想定質問準備)			
第9週	自己分析②(自分史の分析)		第24週	面接試験対策③(志望動機)			
第10週	自己分析③(ジョハリの窓)		第25週	面接試験対策④ (服装のマナー・面接試験の流れ)			
第11週	自己分析④(コンピテンシー)		第26週	面接試験対策⑤(模擬面接)			
第12週	自己分析⑤(未来史)		第27週	面接試験対策⑥(模擬面接)			
第13週	業界研究①(業種・業界・職種)		第28週	訪問対策① (服装のマナー・持ち物・訪問の流れ)			
第14週	業界研究②(興味業界の絞り込み)		第29週	訪問対策②(模擬練習)			
第15週	業界研究③(興味業界とのマッチング)		第30週	訪問対策③(模擬練習)			
評価方法	課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:課題提出(60%)授業態度(20%)・出席(20%)						
教科書 教材など	「にっぽんのカイシャ〜ビジネス日本語を実践する〜」、プリント、ファイル						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	井上 幸路	学年・学期	1年・通年	時間数	240 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	学校生活のみでなく将来の就職活動や社会人としての生活に向けて、多様な文書作成能力を養い、人間関係構築のための口頭表現力を身につける。また、自分が関心を持つさまざまな話題について、明瞭、詳細に書くことができるようにする。 授業は日本語直接法による講義形式で行う。 学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。						
到達目標	JLPT・BJT レベル適切級に合格する。 日本語四技能を総合的に使えるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(1)		第16週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(12)			
第2週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(2)		第17週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(13)			
第3週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(3)		第18週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(14)			
第4週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(4)		第19週	日本語能力試験直前対策④			
第5週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(5)		第20週	日本語能力試験直前対策⑤			
第6週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(6)		第21週	日本語能力試験直前対策⑥			
第7週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(7)		第22週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(1)			
第8週	日本語能力試験直前対策①		第23週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(2)			
第9週	日本語能力試験直前対策②		第24週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(3)			
第10週	日本語能力試験直前対策③		第25週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(4)			
第11週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(8)		第26週	第22週～第27週までの確認テスト			
第12週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(9)		第27週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(5)			
第13週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(10)		第28週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(6)			
第14週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(11)		第29週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(7)			
第15週	期末試験		第30週	期末試験			
評価方法	定期試験を実施。 単元ごとの確認テスト及び毎授業時間の出席状況、授業態度と課題の提出とその成果などを総合的に考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験と確認テスト・実力テスト・課題・授業態度・出席						
教科書 教材など	オリジナル教材(プリント配付) 日本語表現文型500／完全マスターN2・N1語彙・読解・聴解／BJTビジネス日本語能力テスト公式模擬テスト&ガイド 等						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	